

# 体験を生かした道徳の時間 の指導

第7回道徳教育推進リーダー養成プログラム  
平成19年11月28日(水)

- 1 体験活動と道徳の時間の関連
- 2 体験を生かした道徳の授業が求められる背景
- 3 体験を生かした道徳の授業とは
- 4 体験を生かした道徳の授業展開

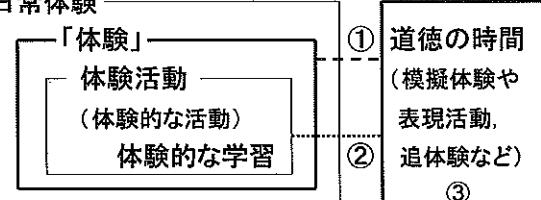
## 1 体験活動と道徳の時間の関連①

道徳の時間においては、観察や調査、実物に触れる活動、様々な立場について考える役割演技、コミュニケーションを深める活動、感性や情操をはぐくむ体験等を取り入れることが考えられる。また、日常体験そのものを資料としたり、特にボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を生かしたり、例えば車椅子体験やアイマスク体験、実物や実際に触れる体験等を取り入れ活用することによって、道徳的価値の自覚を一層深めていくことができるような学習指導を工夫する。

(小学校学習指導要領解説道徳編 P74)

## 2 体験活動と道徳の時間の関連②

日常体験



- ①子どもの「体験」全体を道徳の時間に生かす  
②体験活動と道徳の時間のそれぞれの特色を生かして関連を図る  
③模擬体験や表現活動などを道徳の時間の一部に取り入れる

(永田調査官作成資料より抜粋)

## 2 体験を生かした道徳の授業が 求められる背景

- 社会の変化により児童生徒自身がいろいろなことを感じたり考えたりするという体験がもちににくい現状
- 児童生徒が道徳授業の資料中に登場する人物の生き方に共感や嫌悪感などがもちえないという深刻な状況

## 3 体験を生かした道徳の授業とは

児童生徒が自分の体験を想起しながら、ねらいとする道徳的価値を自分とのかかわりでとらえ、自分自身と結びつけながら考えることができる授業

## 4 体験を生かした道徳の授業展開

- (1)児童生徒の体験を補助資料として活用
- (2)各教科、特別活動及び総合的な学習の時間との関連
- (3)体験の資料化
- (4)体験的な活動を道徳の時間に取り入れる

### (1)児童生徒の体験を補助資料として活用

学校行事など児童生徒の諸活動で行われた活動の記録の一部を、道徳の時間の導入や展開、あるいは終末の段階で活用

例：合唱大会後に書いた作文や保護者の感想、生徒の写真などを補助資料として活用

### (2)各教科、特別活動及び総合的な学習の時間との関連

道徳の時間を中心に各教科や特別活動及び総合的な学習の時間との関連を図りながら、体験を生かした道徳授業の指導計画を構想する。

例：進路学習の一環として行った職場体験活動や職場見学を、道徳の時間で生徒が振り返りながら考える

### (3)体験の資料化

児童生徒の実際の体験を資料化して道徳の時間で活用し、自分とのかかわりで、ねらいとする道徳的価値をとらえやすいようにする。

例：高齢者施設への訪問ボランティアを行った際の出来事などを素材として創作する

※学級の諸問題の課題解決的な学級活動の時間とならないよう留意する

### (4)体験的な活動を道徳の時間の中に取り入れる

模擬体験や表現活動などを道徳の時間の一部に取り入れる。

#### (1)模擬体験

例：アイマスク体験、車椅子体験など

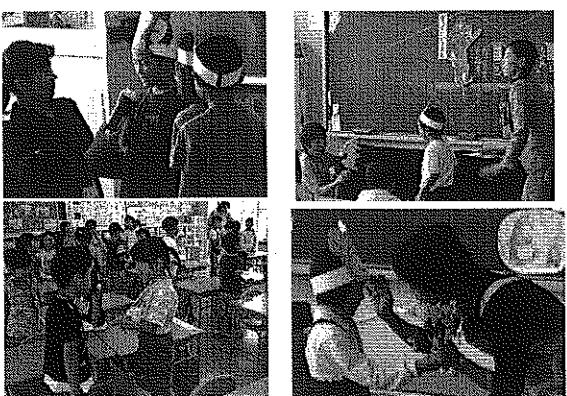
#### (2)表現活動

例：役割演技や動作化、劇化など

### ①模擬体験の工夫例



## ②表現活動の工夫例



## (5)体験的な活動を道徳の時間の中に取り入れる際の留意点

道徳の時間に取り入れる体験的な活動は、道徳的価値を深めるための手段であり、体験することが目的ではない。

取り入れる内容や程度等、十分な指導計画を詳細に練り上げてから実践する。